

## 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染のリスクを回避し、感染者を出さない対策を取る。学生については、学習保障を行う。

### 1. 通常の実策（全学生・教職員）

- ①毎朝の検温、風邪症状など健康チェック表に記載する。  
学生は及び教職員は、定期的(月 1 回)チェックする。
- ②廊下の窓は解放する。教室の窓は休憩時間など随時換気をする。
- ③手洗い・うがいの励行、マスクの着用をする。
- ④速やかに登下校し、密閉空間・近距離で人が集まる場所・近距離での会話や大声での発生を避ける。
- ⑤以下に示す場合は、登校せず、学校に連絡をする。
  - ・体温が 37℃以上の場合
  - ・風邪症状がある場合
  - ・家族・同居者に感染者もしくは濃厚接触者がいる場合

### 2. 感染のリスク回避について

- ①朝の検温・風邪症状確認(記録したものを持参)  
⇒37℃以上、風邪症状がある場合は、登校せず学校に電話連絡をする。
- ②海外渡航・ライブハウス・カラオケボックスなどへの参加の確認  
10人以上が集まって会食、会合などへの参加の確認  
⇒登校前 14 日以内に行っている場合は、登校せず、学校に電話連絡をする。
- ③味覚障害、嗅覚障害があるかの確認  
⇒ある場合は、登校せず学校に電話連絡をする。
- ④家族・同居者に感染者もしくは濃厚接触者がいないかの確認  
⇒該当者の自宅待機期間中は、登校せず、学校に連絡をする。
- ⑤①～④の場合、出席停止の対応をとる。